



取扱説明書 ●この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。安全に正しくお使い頂く為に、必ずお読みください。

各部の名称

バッテリー本体

① **マイクロUSB差込口**
バッテリー本体の充電を行う際に、充電コードのマイクロUSBコネクタを接続します。

② **USBポート(OUTPUT 1:最大出力 1A)**
スマートフォン等の充電を行う際に機器に対応したUSBケーブルを接続します。

③ **USBポート(OUTPUT 1:最大出力 2A)**
スマートフォン等の充電を行う際に機器に対応したUSBケーブルを接続します。

④ **LEDライト**
懐中電灯の代わりになるので、暗いところで便利です。

⑤ **電池残量表示LEDインジケータ**
LEDインジケータが青色に点灯し電池残量を表示します。

⑥ **パワーボタン**
充電が自動で開始し、電池残量表示LEDインジケータが点灯します。
(充電が開始されない場合は「バッテリー本体のパワーボタンを押してください。」)

充電コード(充電専用)

USBコネクタ
バッテリー本体充電時に、充電器やパソコンのUSBポートに接続します。

マイクロUSBコネクタ
バッテリー本体充電時にマイクロUSB差込口に接続します。

パワーボタンとLEDライトについて

パワーボタンを2秒間長押しまたは短く2回押すと、LEDライトが点灯します。
LEDライト点灯中にパワーボタンを2秒間長押し、または短く2回押すと、LEDライトを消灯できます。

※充電コードを本製品に接続していない状態でLEDライトは操作可能です。

使用方法

(バッテリー本体の充電)

①付属の充電コードをバッテリー本体のマイクロUSB差込口に接続します。

②充電コードのUSBコネクタをUSBポートを搭載した充電器および、パソコン等のUSBポートへ差込みます。

③充電がはじまるとバッテリー本体のLEDインジケータが点灯します。

④充電が完了したら充電コードをUSBポートから取り外し、バッテリー本体から充電コードを取り外してください。

バッテリー本体の充電状態は電池残量表示LEDインジケータで確認できます。

1%~25%	26%~50%	51%~75%	76%~99%	100%
点滅	点滅	点滅	点滅	点灯

(スマートフォン等の充電)

①スマートフォン等の充電に対応したUSBケーブル(以下、USBケーブル)のUSBコネクタをバッテリー本体のUSBポートに接続します。

②USBケーブルの充電コネクタをスマートフォン等の充電端子に接続します。

③充電が自動で開始し、電池残量表示LEDインジケータが点灯します。(充電が開始されない場合は「バッテリー本体のパワーボタンを押してください。」)

④スマートフォン等が100%まで充電されると給電が自動で止まります。充電が完了したら「バッテリー本体」スマートフォン等からUSBケーブルを取り外してください。

※途中で充電を終了する場合は、ケーブルを取り外すと給電が停止します。

※機種やご使用環境によっては給電が自動で停止しない場合がございます。停止しない場合は、本体からUSBケーブルを取り外してください。

※本製品の最大出力は2つのUSBポート合わせて3Aです。最大出力を超えた場合、保護回路が動作し本製品は出力を停止する場合がございます。

充電には機種に対応したUSBケーブルが必要です。

※本製品はUSBポートが搭載された「バッテリー」です。使用する機種に対応したUSBケーブルを使用し、iPad、タブレット端末、iPhone、スマートフォン等を充電することができます。

※充電には別途各機種に対応したUSBケーブルが必要です。

※付属の充電コードは本製品の「バッテリー」本体を充電する為に設計されています。マイクロUSBに接続した機種でも付属の充電コードでは充電が開始されない場合がございます。

機種充電中に電池残量表示LEDで「バッテリー」残量を確認できます。

100%~76%	75%~51%	50%~26%	25%~1%	0%
点灯	点灯	点灯	点灯	消灯

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 濡れた手で充電器やコネクタに触れないでください。
- 使用中に異音、発熱、発煙、などの異常があった場合や、万が一、水や液体が入った場合直ちに使用を中止してください。
- 絶対にショート、分解、改造などしないでください。火災や感電、故障、事故の原因となります。
- 指定の機種での充電以外には使用しないでください。
- 使用中、機器本体及び本製品より多少の熱を発生する場合がございますのでご注意ください。

ご注意

誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品のご使用の前に、必ず機器本体の取扱説明書に記載されている注意事項等をよくお読みください。本製品の機能に関する記述をよくご理解の上で、安全に正しくご使用ください。
- 充電電池は長期間放置すると自己放電していることがありますので、ご使用になる前に電池残量を確認し残量が少ない場合は充電してからご使用ください。
- 保管後何ヶ月を経過した場合、再度本体を満充電してください。本体の電池残量が少ない場合には長期間保管をしないでください。本体の電池容量が著しく短くなる事や使用できなくなる事があります。
- 必要以上の連続充電をしないでください。バッテリー本体が満充電になったら、必ず電源から外してください。
- 本製品の端子からコネクタを抜き差しするときは、必ずプラスチック部分を持って行き、コードを強く引っ張ったりして負担をかけないでください。またコードが痛んでいたら使用しないでください。
- 炎天下や降雪時の屋外、車内など40℃以上0℃以下となる場所、直射日光の当たる場所、ほこり、振動の多い場所、湿気や水濡れの多い場所などでの使用や保管はお止めください。
- 幼児の手が届く場所を避けて保管してください。
- 本製品を携帯する際は「充電電池リサイクル協力店」に加入の電気店またはスーパーなどに置いてあるリサイクルボックスに適切にお入れください。
- 本製品の端子や充電コードのコネクタ近辺が汚れたりはこりがついた時は速やかに本製品を電源や機器本体より外し、乾いた布で拭き取ってご使用してください。コネクタ等の接続部分に異物が混入すると火災や感電、故障、事故、の原因となります。
- 電源ボタンを押しても全く電源が入らない状態まで放電した機器は本製品では充電出来ません。一部完全放電から復帰可能な機種もありますが、復帰まで20分以上かかる場合があります。
- 機器本体の取扱説明書にも記載されていますが、機器本体に登録された電話番号、音楽ファイル、セーブデータなどの各種メモリーは、本製品の使用に際し必ず消失する可能性があります。本製品の使用時に万が一メモリーが消失しても弊社では一切の責任を負えません。データのバックアップを取るなどしてメモリーが消失しても困らないようしてからご使用ください。
- 本製品を投げたり、衝撃を与えたり、コネクタを無理矢理機器本体や本製品に差し込まないでください。
- コネクタを裏向きに差し込む機種があります。接続方向を間違えて無理に差し込むとコネクタを破損し、ショートやメモリーの消失を起こす危険性があります。十分に注意して接続してください。
- 機器の電池パックは必ず充電した状態で、本製品まで使用しないでください。故障の原因となります。また、電池パックが古くなって、故障している場合は充電できません。その場合は新しい電池パックと交換してください。また、スマートフォンの電池パックは過放電しますと寿命が著しく短くなります。
- 満充電までの時間は機種や、使用環境によって異なります。
- 充電状態は機器本体の液晶画面の表示でご確認ください。
- 本製品は一般的な補充充電を目的とした充電器です。機器本体の電池バッテリーの状態や使用状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- 本製品の使用により肌に異常が現れた場合は、使用を中止して医師の診断を受けてください。
- 本製品は日本国内でのみ使用することを前提に設計、製造されております。国外の使用トラブル等はお客様ご自身で、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用中に起こる機器の故障、故障、人体への影響のトラブルの責任は一切弊社では負うことが出来ません。
- スマートフォンの使用方法は弊社ではサポートしておりません。また適合する機器での使用であってもすべての状況で動作を保障するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 万が一、製造上の原因により不良品があった場合は、同製品または同製品との交換を致します。ご対応の際に販売店のシール又は領収書が必要になる場合がございますので、シール及び領収書は必ずご保管しておいてください。尚製品の保証期間はご購入日より6ヵ月以内です。

×

本製品の「バッテリー」を充電しながら、機器本体の充電はしないでください。
バッテリーを満め、「バッテリー」の寿命を早めるおそれがあります。

本製品のバッテリー充電に関するご注意

- パソコンのUSBポートから充電する場合はパソコンの電源をONにしてご使用ください。
- パソコンのUSBポートに、他の動作機器が接続されています。パソコンが不安定になる場合がございます。
- 本製品をUSBハブ経由で使用の際は、USBハブに付属のACアダプタを接続した上で使用してください。他の周辺機器と同時使用する事で大量の電流を要する為、バッテリー本体の充電時間が長くなったり、充電が出ない場合がございます。